

2025年10月

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行
第22号

海外出張レポート

展示会おじさんこと青木はまたまた行って参りました。今回の目的地はドイツ！！そうです！！EMO2025に行って参りました。今年4月のCIMT(北京)に続き、小千谷市の超高精度スピンドルメーカーのエヌ・エス・エス(株)様からのお仕事で同社の欧州視察に同行させて頂きました。

ここでEMOについて概要をご説明いたします。2年に1度、奇数年に欧州(ドイツ・イタリアの交互開催)で行われる世界4大工作機械見本市の1つでフランス語の〈Exposition Mondiale de la Machine Outil〉(世界工作機械展)の略称です。

今回は2015年以来の3回目の訪問になります。個人的な話ですが、今年4月にCIMT(北京)を訪問いたしましたので、昨年のIMTS(シカゴ)から連続で4大展示会に参加し、勝手にテニスというグランドスラムを達成した気分です。



発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

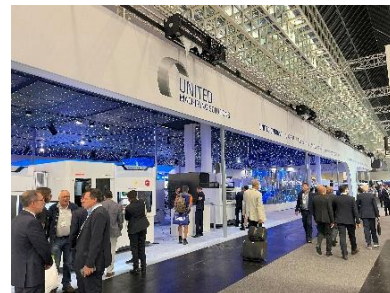
Email：contact@bsmt.co.jp

日本以上に悪いドイツ経済

今回、展示会を訪れての第一印象は、ヨーロッパ、特にドイツの景気が思っていたよりずっと悪いことでした。東欧(旧ソ連圏)はロシア向けの武器輸出等で機械受注はそこまで悪くないが、西欧は自動車が動いていない影響で絶望的に悪いとの事です。日本と同様、EV路線を行くのか、エンジン車を継続するのかの方向性が決まらずに、下請けの部品メーカー以下が設備投資をすることが出来ない状況になってしまっています。

展示会自体も前回(2023年)に比べ、展示スペースは約半分、出展社数も200社程減少しておりました。各社のブースの装飾もシンプルに見え、大型機の展示はほぼ見られずに、各社出展コストを削っているのではとの印象を受けました。中国経済もあまり良くないせいか、出展社としても来場者としても中国の方の姿をあまり目にしませんでした。

さて、EMOの特徴としては、日本ではあまり目にすることがない欧州メーカーのユニークな機械の展示が目立ちます。基本的には工程集約、自動化がコンセプトの機械になります。



日本はコストを考えて、売れる製品を作ろうとしますが、欧州メーカーは独創的なアイデアで良い物は高くても当然、使い方はユーザーに任せるという思いで開発・製造してるのだろうと感じました。

昔、ある欧州メーカーの方に言われた言葉が今でも忘れることができません。『日本はすぐに、まず見積を出す。我々はまず機械をお客様に見てもらう。お客様は機械を見て、性能の良さに感動し、自身の工場でする場面を想像する。そこで、見積をサッと出す。多少予算オーバーでも欲しい気持ちが勝って、何とかしようと考えを巡らす。最初から価格が頭に入ってしまうと、予算オーバーの場合はそこで検討の土台から外れてしまう。』

欧米らしい考え方だなと思いました。どこか説得力のある言葉でした。



←当社ホームページで今回のドイツ出張の様子を載せております。

←携帯からも見れますので、是非アクセスしてみてください。

欧州の一流製品はいかがでしょうか!?

EMO気分が抜ける前に…、ヨーロッパが誇る超精密機械の聖地スイスで作られる世界最高精度を誇る円筒研削盤がお得に手に入るっておきの情報をご紹介します。

私が昔から大好きなメーカーの一つ、スイスの円筒研削盤メーカーSTUDER社のエントリーモデル機である『FavoritCNC(フェイバリットシーエヌシー)』が今月、名古屋で開かれるメカトロテックに出展いたします。幸いなことに売先はまだ決まっておらず、1台限定で展示機特別価格で手に入れることが可能です!!

STUDERの中ではエントリーモデルに位置付けられますが、精度は上位機種と変わらず、STUDER社の代名詞でもあるグラニタンベッド(ミネラルキャスト)を採用しており、上位機種との違いは出来る加工(追加できるOPの数)の範囲に限られるという点のみです。欧州では汎用機(手動機)の販売が人、制度の問題で難しくなってきたことを受け、汎用的にも使えるNC機のコンセプトで開発された機械です。



◇出展機的主要仕様◇

- ・センター高さ175mm・心間650mm
- ・手動回転式砥石台・無段変速式内研スピンドル
- ・径測定用プローブ・長手位置測定プローブ等々。

詳細は当社にお問合せ頂き、是非展示会で実機をご確認頂きたいと思っております!!

一足先に見てきました!! 新型機!!

前号でご紹介いたしましたFANUC/ロボドリルの新型機の実機をドイツで見えてきました。見た目はあまり変わりませんが、熱変位を考慮した新機械構造、切粉処理を改善した新カバー、NCは一緒だが実は変わったサーボアンプ等々、新型機にふさわしい内容でした。

新型モデルの機種名の由来は、ドリルの『D』、前モデルがBでしたので、その次を表す『C』、海外輸出に認可が必要な5軸制御可能NCを搭載した事を表すセキュリティの『S』で『DCS』との事でした。

尚、新モデルは標準型とストローク延長型のみで、短縮版は全モデルを併売して対応するとの事です。

ご興味のある方は、まずは当社に見積依頼を!!

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください!!

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)
2009年 (株)兼松KGK 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年
2024年 (株)青空機械 設立